

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	観音崎公園		
所在地	横須賀市走水2丁目・鴨居3丁目・4丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/kannon/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和50年4月）		
指定管理者名	観音崎公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1～R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横須賀土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価（利用状況、利用者満足度、収支状況）に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>利用状況がC評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったため、3項目評価はB評価となった。</p> <p>利用状況は、緊急事態宣言を受けて駐車場を閉鎖したことによる大幅な来園者の減少や、緊急事態宣言が出ていない期間においても、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛やイベント休止のため、目標を達成できなかった。しかしながら、利用者の満足度は、駐車場閉鎖等の問合せにも丁寧に対応し、円滑な公園利用を案内したことにより、極めて良好だった。また、収支状況についても、利用促進費に替えて、植物管理、施設管理、修繕費等を増やす工夫があり、良好であった。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、公園の自然環境に配慮した植物管理、自然と歴史資源を活かした利用促進の取組及び地域やボランティアと連携した公園づくりの継続した取組が望まれる。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 観音崎公園の貴重な自然や歴史資源の特性を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組を行いながら管理運営にあたっている。 維持管理に関しては、地元ボランティアなどと協力し、希少動物の保護、施設補修などの取組が行われている。</p> <p>利用促進に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止が相次いだが、感染対策を講じ規模を縮小しながら、実現可能なイベントを開催した。 地域連携に関しては、ボランティア団体同士の交流の場を設けたり、地元の社会福祉法人とのイベントによる交流を行ったりするなど、ボランティアや地域と連携した取組が継続して行われている。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、公園利用者数は対前年度比で109.3%であったが、目標達成率で84.7%に留まったため、C評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が95.4%であったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が約101.54%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 新型コロナウイルス感染症の影響による駐車場閉鎖への問合せ等にも、丁寧な対応が行われている。</p> <p>◆事故・不祥事等 なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2ヵ月に1回程度	「月例報告の確認」に併せて適宜現地に赴き、施設の管理運営状況の実態を確認。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	年に1回程度	「年度業務報告の確認」に併せて会議を開催し、事業報告書の内容を共有。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有	指導・改善勧告等の内容
	無	

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
植物管理にあたっては、自然再生士、ビオトープ管理士、樹木医、植栽基盤診断士、街路樹剪定士、造園施工管理技士及び造園技能士等の指導による適切かつ効率的な育成管理を行う。	日常管理に加えて、定期的に倒木の恐れがある危険木を伐採していき、来園者や近隣住居への事故を未然に防いだ。	
法定点検は法令に基づいて実施することとする。また、来園者の安全を確保するため、保守点検は、日常点検、定期点検及び臨時点検を行う。なお、点検時に異常を発見した場合は、速やかに修繕等の必要な対応を行う。	日常点検、定期点検に加え、臨時点検にて照明の不点灯を発見し、照明灯の修繕を行った。 また、大雨警報発令時には夜間待機やパトロールを実施した。地震発生時も同様にパトロールを実施した。	
来園者に快適なサービスを提供するため、公園の総合案内窓口では、正確で分かりやすい案内を行うとともに、園内では、「誰でも・いつでも・どこでも」案内ができる取組を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために行った駐車場閉鎖について、多くの問合せがあったが、丁寧な案内をすることで、円滑な公園利用を図った。 また、パークセンターにおいて、特定の期間にスタッフ手作りの飾り付けを行い、来園者から好評だった。	
巡視中やイベントの開催時など、常にマナー違反や事故等の未然防止に取り組む。また、横須賀土木事務所や警察、地域等の関連機関と連携しながら、公正・公平かつ毅然とした態度で利用指導に取り組む。	路上駐車対策として、警察と連携しながら巡回や声掛けを増やし、防止に努めた。 春先になると野草を盗掘する者が後を絶たないため、警察と連携しながら見回りを行った。	
既存のボランティア団体と今後も協働を継続して行うとともに、新規の方への呼び掛けを積極的に行う。また、ボランティア同士が連携し、活動を通じて公園を楽しんで活用してもらうために、「公園倶楽部」を引き続き開催する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ボランティア団体との協働は縮小したが、連携については継続した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
地産地消の取組として、三浦・横須賀の山の幸や観音崎の海の幸を食材にした安全なメニューを提供する現事業者（レストランマテリア）を継続する。	まん延防止等重点措置を契機に、酒類の販売を取り止めた。 また、食品衛生を第一に、食品衛生パトロールを実施し、衛生管理を徹底した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	766,383	658,352	719,700
対前年度比		85.9%	109.3%
目標値	850,000	850,000	850,000
目標達成率	90.2%	77.5%	84.7%

目標値の設定根拠：

提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）：

駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

緊急事態宣言を受け、8月～9月に駐車場を閉鎖したことにより、同期間の来園者数は前年度の5割程度に減少した。また、年間を通じた来園者数について、緊急事態宣言が出ていない期間においては、前年度と比べて増加しているが、外出の自粛やイベントの中止等により来園者数は減少し、目標値は下回った。

②令和3年度の対応状況

緊急事態宣言中の駐車場閉鎖以外は、コロナ禍であっても、オープンスペースである公園利用のニーズはなくなり、一定程度の公園利用があった。そうしたことから、来園者に対して、密を避ける案内や飲酒自粛の案内等の取組を行い、安全に公園利用ができるよう、運営管理を行った。

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	92,294	0	35,407	駐車場:30,595 自販機:4,812	127,701	127,701	0	
	決算	92,294	0	35,738	駐車場:31,588 自販機:4,150	128,032	127,767	265	100.21%
前年度	当初予算	95,959	0	35,407	駐車場:30,595 自販機:4,812	131,366	131,366	0	
	決算	98,329	0	32,952	駐車場:29,326 自販機:3,626	131,281	130,277	1,004	100.77%
令和3年度	当初予算	94,678	0	29,338	駐車場:25,649 自販機:3,689	124,016	124,016	0	
	決算	97,408	0	33,886	駐車場:29,645 自販機:4,241	131,294	129,307	1,987	101.54%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により令和3年度の指定管理料を増額した。

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	口頭	1 件	駐車場トイレのペーパーホルダーの紙が下りてこない。	レバー調整にて正常動作確認した。
	メール	件		
	アンケート	件		
職員対応	口頭	件		
	メール	件		
	アンケート	件		
事業内容	口頭	件		
	メール	件		
	アンケート	件		
その他	口頭	件		
	メール			
	アンケート	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。